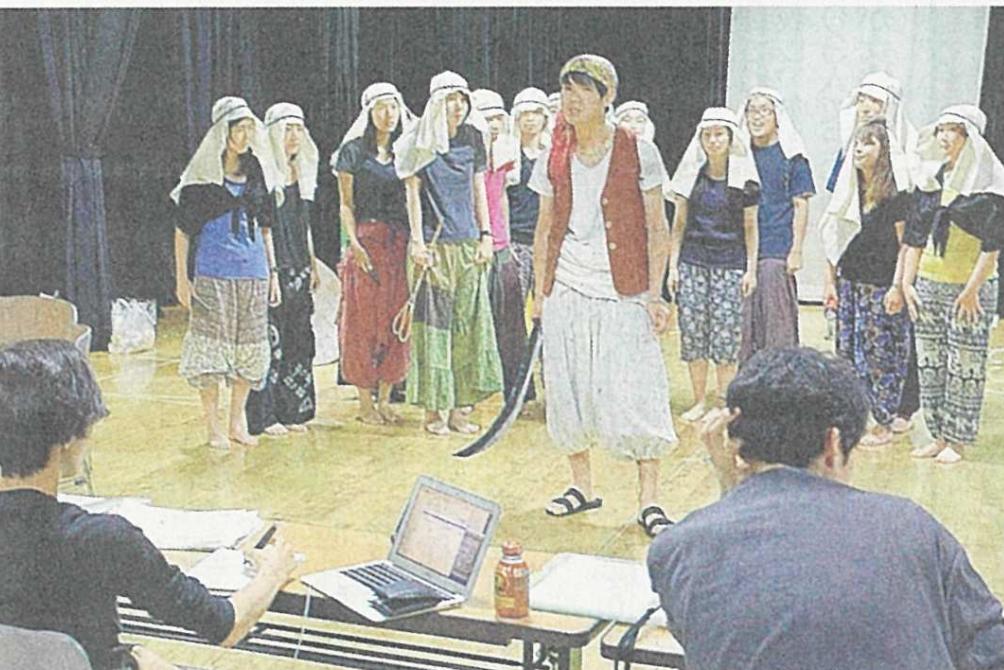


# 若者らの初演劇見て

東山で来月「劇団虹差点」修了公演

## 18人、練習重ね信頼築く



初めての演劇舞台に向けて練習を重ねる出演者の若者ら(京都市東山区・東山青少年活動センター)

演劇初挑戦の若者らでつくる「演劇ビギナーズユニット」劇団虹差点」の修了公演が9月3、4日、京都市東山区の東山青少年活動センターで開かれる。人前で話すことが苦手だったり、自己表現の力を身につけたいと参加したメンバーの晴れ舞台。「経験は浅くても情熱をぶつけ、いい作品を見せたい」と意気込む。

演劇ビギナーズユニットは同センターで1994年から続く体験

講座。毎年、中学生から30歳までの出演者を募り、プロの若手演劇家をスタッフに迎えて創作に取り組む。今年は18歳以上の男女18人が参加し、5月から練習を重ねてきた。

上慎太郎さん(32)は「ビギナーだからこその熱さを引き出したい。18人で作る楽しさを味わってほしい」と話す。

上慎太郎さんは、自主練習もしながら信頼を深めてきた。主役を演じる龍谷大4年坂口望美さん(21)は「みんな仲がよく、演技の軸がしっかりとしてきた。成果を見せたい」と力を込める。

上演する作品は内藤裕敬脚本の「夏休み」。阪神大震災を題材に、家族の在り方やボランティアの意味などを問いかける。演出を担当する劇団「夕暮れ社弱男ユニット」代表の村

41)0619。  
(後藤創平)

1時と同6時半、4日午後1時から。千円(前売り800円)。申し込みは東山青少年活動センター☎075(5

公演は9月3日午後